

正しくお使いいただくために、この取扱説明書を必ずよくお読みください。
また、お読みになったあとは、大切に保管してください。

128UTS-CR付断線片

取扱説明書

東京通信機工業株式会社

安全にお使いいただくため

取扱説明書には、誤った取り扱いをした場合に予想される事故の大きさによって3段階の注意事項を表示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、軽度または中程度の損害を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、本品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。



- ◆本品を水に入れたり、ぬらしたりしないようにご注意ください。火災や感電の原因となります。本品に水がかかるようなところでの使用、保管はおやめください。
- ◆本品を分解したり、改造したりしないでください。感電の原因となります。



- ◆湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所、暖房器具のそばや直射日光のあたるところに置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ◆窓を閉めきった自動車内など、室温が高くなる場所に放置しないでください。火災や故障の原因となる場合があります。
- ◆本品を振り回したりしないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。



- ◆落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- ◆ベンジン、シンナーなどの化学薬品でふかないでください。

1. 128UTS-CR付断線片について

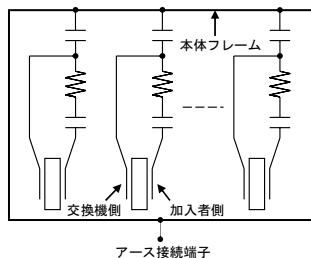
はじめに

128UTS-CR付断線片（以下、CR-128UTS）は、二重ジャンパ布設時に新側交換機を現用回線から切り離すために128号U試験弾器（以下、128UTS）に挿入して使用します。1枚8回線分の断線片が8枚の構成で一体型になっているため、モジュール単体で断線片を一括で装着することができます。

- ・ CR-128UTSは、二重ジャンパ布設時に新側交換機を現用回線から切り離すために128号U試験弾器に装着し使用します。
- ・ CR-128UTSを使用するときは、二重ジャンパ布設時に発生する雑音を抑止するため、本体に付属しているアースコードによりアース接続してください。アース接続はアース接続されているCR-128UTSもしくは128号U試験弾器のフレームに接続してください。
- ・ 二重ジャンパ自動試験装置「8」では、CR-128UTSを使用した二重ジャンパ検証に対応しています。
- ・ 外し工具（別売）を使用することで、128号U試験弾器に装着したCR-128UTSをモジュール単位で一括に取り外すことができます。
- ・ CR-128UTS及び外し工具の外観を図1に示します。



図1



(参考図)

❌ お願い

- ・ CR-128UTSを落としたりすると、けがやCR-128UTSが破損する恐れがありますので取り扱いには十分に注意してください。
- ・ CR-128UTSの基板に無理な力を加えると破損する恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- ・ 外し工具を128号U試験弾器に装着していない状態のCR-128UTSに直接装着しないでください。CR-128UTSの基板が破損する恐れがあります。

2. CR-128UTSの装着方法

- 1) CR-128UTSを128号U試験弾器のTS部に差し込みます。方向性はCR-128UTSの側面にあるラベルの指示に従ってください。最後まで挿入を行ってください。

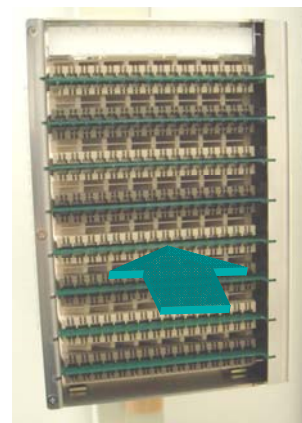


図2



図3



図4

- 2) CR-128UTSとアースを接続します。図5のように、128号U試験弾器のフレーム部分にアース接続クリップを取り付けてください。また、アース接続されているCR-128UTSが下段にある場合は、図6のように連結して接続することもできます。



図5

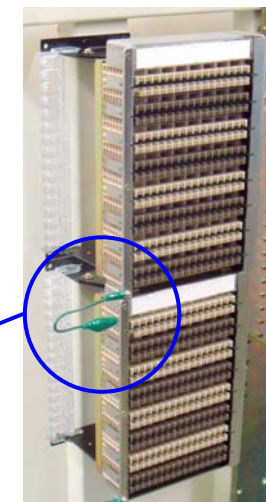


図6

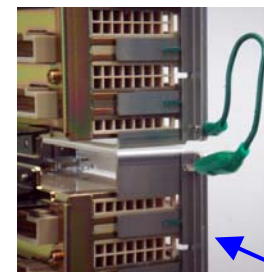


図7

アース接続されているCR-128UTS

🚫お願い

- ・ CR-128UTSを128号U試験弾器に装着する際に、位置ずれ等があった場合は、1度取り外してから再装着してください。無理に装着しようとすると基板が破損する恐れがあります。
- ・ CR-128UTSが浮いていると、新側交換機との切り離しができなくなり機能不良や回線障害の原因となります。装着後に浮きがないことを十分に確認してください。

メモ

3. CR-128UTSの抜去方法

128号U試験弾器に装着したCR-128UTSを外すときは、外し工具を使用します。

- 1) 外し工具のレバーを両手で持ち、外側に開きます。レバーを開いた状態でCR-128UTSが装着されている128号U試験弾器に取り付けます。方向性は工具についているラベルの指示に従ってください。



図 8



図 9



図 1 1



図 1 0

- 2) 外し工具のレバーを片手に持ち替えて、ハンドルを握ってください。128号U試験弾器からCR-128UTSが浮き上がります。アース接続クリップを外してから、図11のようにレバーを握ったままCR-128UTSを取り外してください。

🚫お願い

- ・ 取り外す際は、アース接続クリップを取り外してから行ってください。クリップを接続したままCR-128UTSを取り外すと、アース接続クリップが破損する恐れがあります。
- ・ CR-128UTSが付いた状態で、外し工具のレバーを操作しないでください。外し工具からCR-128UTSが外れて落下し、けがや破損の原因となります。
- ・ 外し工具を128号U試験弾器に装着していない状態のCR-128UTSに直接装着しないでください。CR-128UTSの基板が破損する恐れがあります。

4. CR-128UTSの基板交換方法

- 1) CR-128UTSの左側正面と右側側面のネジをプラスドライバーで取り外します。取り外した左右の基板固定プレート・ネジ・ワッシャー・アース接続部品はなくなさないようにしてください。

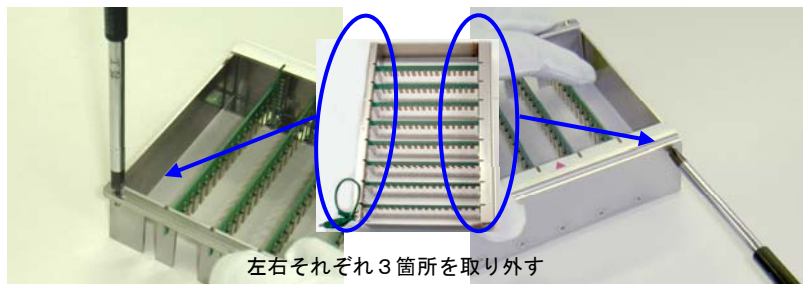


図 12

図 13

- 2) 交換する基板の右側側面にあるネジを取り外します。ネジを取り外すと基板を取り外すことができます。取り外した基板の位置に新しい基板を取り付けます。側面からネジで仮固定します。



図 14



図 15

- 3) 右側の基板固定プレートを取り付けます。図 17 のように基板固定プレートの溝に全ての基板が入るように微調整を行ってください。微調整が終わったらネジで3箇所を仮固定します。



図 16

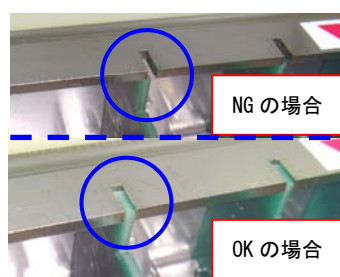


図 17

4. CR-128UTSの基板交換方法 (つづき)

- 4) 左側の基板固定プレートを取り付けます。使用するネジは3箇所共に異なりますので下図を参考にして仮固定してください。



図 18



図 19

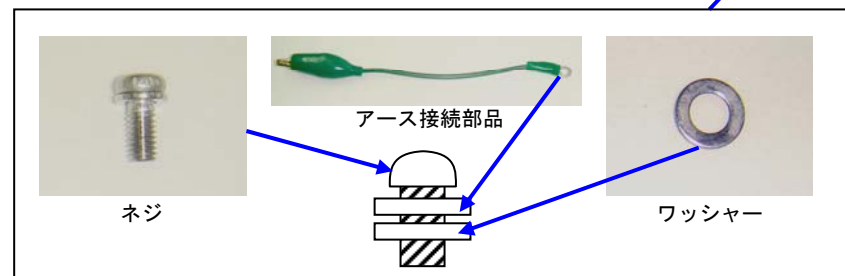


図 20

- 5) 最後に仮固定しているネジを締めます。

メモ

○本品に関するお問い合わせ

本品のお問い合わせにつきましては、弊社営業部までご連絡ください。

〒108-0074 東京都港区高輪3-8-13
東京通信機工業株式会社 本社 開発・販売推進部
電話：03(3447)2421(代)
ファックス：03(3447)0426
メール：sales@totsuki.co.jp
ホームページ：http://www.totsuki.co.jp

電話受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～12時
午後1時～5時

メール・ホームページは24時間受け付けております。

なお、夜間・弊社休業日に問い合わせた場合の回答は翌営業日以降となります。

※お電話でのお問い合わせは、内容により即答できかねる場合がありますので、
速やかな問題解決の為、事前にお問い合わせ内容をFAXにてお送りください。

128UTS-CR付断線片
取扱説明書(CM110-0001)
平成22年5月第2版発行

 **東京通信機工業株式会社**

東京都港区高輪3-8-13 TEL 03(3447)2421(代)
FAX 03(3447)0426